

ゆほびか通信

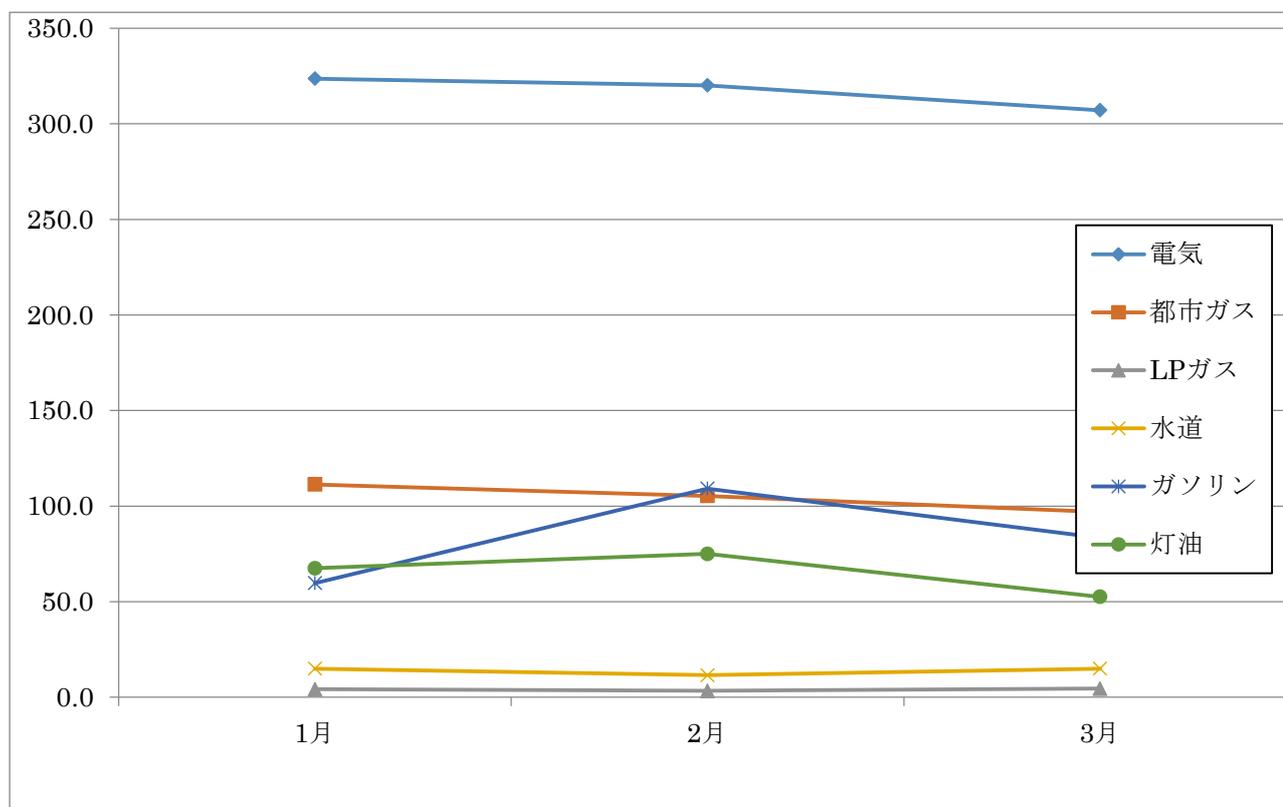
平成29年 5月号

発行者 エコウイングあかし事務局
 (明石市市民生活局環境室環境総務課計画係)
 〒674-0053 明石市大久保町松陰 1131
 Tel: 078-918-5029 Fax :078-918-5586
 編集:エネルギーグループ(年4回)

1. エコウイング活動

環境家計簿の平成29年1月～3月の集計が出来ましたので報告します。

【平成29年1～3月環境家計簿 CO₂排出量 (6名の会員平均)】



	1月	2月	3月	
電気	323.7	320.2	307.1	
都市ガス	111.3	105.4	97.0	
LPガス	4.2	3.4	4.5	
水道	15.0	11.5	15.0	
ガソリン	59.7	109.1	83.5	
灯油	67.5	75.0	52.5	
CO ₂ 排出量	3488.1	3747.1	3357.4	10592.6

【表の評価】

平成28年10月～12月にかけて電気使用量が増加したが、1月でも増加が続き、2月から3月にかけて減少に転じている。

これは、外気温による影響と寒さ慣れが寄与しているものと思われるが、この調子で暖かくなっていくとともに、エネルギー使用量が減少して行けばよいと思われる。

2. 3月5日にエコウイング環境フェアを開催

前号で予告したように、3月5日にイオン大久保でエコウイングの環境フェアが行われました。エネルギーグループでは、自然エネルギーを発生させるおもちゃや運転シミュレーター、鉄道ジオラマを展示して、環境クイズと運転シミュレーターをした人には、景品を贈呈しました。

市内の小学校から出品された環境関連の作品展には多くの人が集まってくれました。



3. 我が国の2015年度温室効果ガス排出量は、前年度に比べて3.0%削減

去る4月13日に、省エネ庁が発表した速報値によると、2015年度の温室効果ガスの排出量は、3.0%削減できたということです。

日本の温室効果ガスの総排出量は二酸化炭素換算で、2014年度に13億6,200万トンであったものが、2015年度には3.0%（4,100万トン）減少しました。10年前の2005年度（13億9,300万トン）に比べると5.2%を削減したことになります。

その要因は、前年度に比べて電力消費量の減少や電力の排出原単位の改善に伴って電力由来のCO₂排出量の減少によるエネルギー起源のCO₂排出量が減少したことなどがあげられています。また、産業部門や運輸部門におけるエネルギー起源のCO₂排出量が減少したことがあげられています。

各部門のエネルギー起源二酸化炭素（CO₂）排出量（電気・熱配分後）を見てみると、下の表のようになって削減率の変化には、多少のばらつきがあります。

エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）排出量（電気・熱配分後） 表1

	1990年度 [シエア]	2005年度 [シエア]	2013年度 [シエア]	2014年度 [シエア]	2015年度(速報値)			
					排出量 [シエア]	変化率		
					2005年度比	2013年度比	2014年度比	
合計	1,067 [100%]	1,219 [100%]	1,235 [100%]	1,190 [100%]	1,148 [100%]	-5.8%	-7.0%	-3.5%
産業部門 (工場等)	502 [47.0%]	457 [37.5%]	432 [35.0%]	421 [35.4%]	413 [35.9%]	-9.7%	-4.4%	-2.1%
運輸部門 (自動車等)	206 [19.3%]	240 [19.7%]	225 [18.2%]	220 [18.5%]	216 [18.8%]	-9.7%	-3.7%	-1.8%
業務その他部門 (商業・サービス・事業所等)	137 [12.8%]	239 [19.6%]	278 [22.5%]	264 [22.2%]	249 [21.7%]	+4.3%	-10.5%	-5.7%
家庭部門	131 [12.2%]	180 [14.8%]	201 [16.3%]	191 [16.1%]	182 [15.8%]	+1.1%	-9.7%	-4.8%
エネルギー転換部門 (発電所等)	91.1 [8.5%]	104 [8.5%]	98.9 [8.0%]	93.3 [7.8%]	88.2 [7.7%]	-14.9%	-10.8%	-5.4%